



成田空港南R.C.会長テーマ

例会日時 毎週木曜 12:30点鐘
(最終例会 18:30点鐘)
例会場 中国ダイニング 富士屋



ゆかり
縁

事務局 〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 80-1178

URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

第2790地区ガバナー 得居 仁 第6分区ガバナー補佐 小林 信雄

平成24年9月20日発行 NO.2025 第2153例会 会長 石田 喜一 幹事 渡辺 孝文 会報担当 倉石 昌治

例会報告(平成24年9月20日)

会長挨拶

ガバナー公式訪問例会

(中国ダイニング 富士屋)

11:10~12:10 懇談会

ガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事・会長エレクト・第2副会長

司会	SAA委員長	小川佐内
点鐘		石田喜一会長
「君が代」ロータリング		「奉仕の理想」斉唱
四つのテスト唱和		杉森幹男会員
ガバナー紹介		
会長挨拶・会務報告		石田喜一会長
幹事報告		渡辺孝文幹事
各委員会報告		
ガバナー補佐挨拶		小林信雄様
基調講演(卓話)	ガバナー	得居 仁様
ニコニコボックス		
出席報告		
点鐘(記念撮影)		石田喜一会長
クラブ協議会		
クラブ協議会終了後、懇親会		



皆さんこんにちは。今一番緊張を致しております。本日は今年度のクラブ活動で最も重要なガバナー公式訪問です。国際ロータリー第2790地区ガバナーの得居仁様、第6分区ガバナー補佐小林信雄様、補佐幹事並木孝治様、遠いところようこそお越しくさいます。ありがとうございます。

午前中には得居仁ガバナー、小林信雄ガバナー補佐、並木孝治ガバナー補佐幹事を迎え、会長、渡辺幹事、古西副会長、行木クラブ管理運営委員長との懇談会が行われ、ガバナーより直接ご指導をいただきました。ご指導を戴いた事は今後のクラブ運営に取り入れていかしていきたいと思ひます。

ガバナーの公式訪問は手続要覧によりますと、☆ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。☆ロータリアンの意欲をかきたて奉仕活動に参加させる。となっております。

2012 - 2013年度、田中作次R I 会長のメッセージは「奉仕を通じて平和を」です。平和が私たちの焦点、目標として積極的に奉仕活動をし、すべての人、家族、クラブ、地区、地域の中核に我々ロータリアンがいたいものです。

2013年5月の広島での「平和はあなたから始まる」にはクラブでの参加を考えております。



得居ガバナーは「利己と利他との調和」をテーマに掲げられております。職業奉仕の更なる推進、理念と理解を深め実践を極めて目指して行く等、職業奉仕の重要性を重んじております。

ついでに私のテーマ『縁（ゆかり）』は、人と人の出会いそれは一期一会、出会ったことには様々ありますが、出会うべくした『縁』があったのだと思います。

これも私がロータリーに入会させて戴き、皆様とこうしてお付き合いができ、またこの様なたかいところより挨拶しているのも縁なのかなと思います。

3年後の50周年記念事業に向かい、職業奉仕に励み、クラブの活性化や会員家族が全員参加できるような親睦活動を行い、バランスが良い魅力あるクラブを目指して勉強してまいります。

本日は例会終了後、クラブ協議会を開催いたします。

会員の皆様の意見を多数期待しております。

得居ガバナーには、ご指導の程よろしく願いいたします。

卓話



国際ロータリー第2790地区
ガバナー 得居 仁 様

松戸東ロータリー・クラブ得居仁でございます。国際ロータリー第2790地区ガバナーとして、成田空港南ロータリー・クラブに公式訪問ができますことを大変光栄に存じております。

先刻行われました会長・幹事懇談会におきまして、成田空港南ロータリー・クラブの現状とこれからの展望、課題などについて、率直な意見交換をいたしました。成田空港南ロータリー・クラブの日頃の奉仕活動に深甚なる敬意を表する次第であります。どうぞ今後とも、クラブ発展のため、更に一層のご研鑽、ご尽力下さることを期待いたします。

30年ぶり、日本から3人目である、埼玉県八潮ロータリー・クラブ2012-13年度田中作次国際ロータリー会長の今年度のテーマは「奉仕を通じて平和を」であります。

田中会長は、ロータリーは、国や民族間の友情と寛容を推進することで、互いに理解し合う最も伝統的な意味での「平和」の後押しをすることが出来るとして、世界3都市での「ロータリー世界平和フォーラム」の開催を決定されました。2013年5月17、18日両日の「平和はあなたから始まる」をサブタイトルとする広島大会に、日本34地区それぞれから、最大20名のロータリアンと10名の新世代の参加が要請されております。

また田中会長は、ロータリアンは、自分よりも他のひとのニーズを重視する、「超私の奉仕」というロータリーの標語は、自分だけではなく、社会全体のためを考えよと教えてくれる言葉であり、「超私の奉仕」を実践することにより、私たちは、「平和」すなわち「心の平安や家族の幸せ、満足感」「人間の基本的なニーズが満たされた安全な状態」を実現することが出来る、とされておられます。

幹事報告

①週報受領クラブ

・多古RC

②活動計画書受領クラブ

・大原RC

③R情報研究会のお知らせ

平成24年10月12日（金）

15：00～18：00

場 所 東金商工会議所

テーマ 「職業奉仕に生きること

話し合い 語り合おう」

職業奉仕委員長と入会5年以内の会員で行ってまいります。

④織田吉郎PGより活動計画書のお礼状が届いております。

⑤次週9/27の観月会について

現在のところ44名の参加がございます。皆で楽しくやりたいと思いますので、よろしく願い致します。



田中会長から地区ガバナーに対して、①「ロータリー世界平和フォーラム」推進、参加に加えて、②ロータリー戦略計画3つの優先項目である「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」に力を注ぐこと、及び③「奉仕を通じての平和」の精神をもって、ロータリーの究極の目的である平和な世界に向けて邁進すること、の3点の要望がなされています。さて、これより私の今年度ロータリーの取り組み方とロータリー観を申し述べたいと存じます。

RI定款と皆様のクラブ定款のそれぞれ第4条に規定されております「綱領」は、大綱で、つなぎ、まとめられた最も重要なものであることを意味する言葉であり、また同時に、国家に譬えれば憲法に匹敵する性格を有する基本的且つ重要なものであります。私たちロータリアンがロータリーの目的、目標とするに留まらず、これを守り通し、守り続けて行かなければならないものなのであります。

「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し」と宣言しています。ロータリーの目的は、奉仕という基本理念の上に立って事業が行われるようにすることにある」というのですから、ロータリーの目標は唯一つ、職業奉仕の推進以外にはなく、これに尽きるのであります。

ロータリーは、職業奉仕の推進を目的とする実践的倫理運動であり、職業奉仕を中心とし、そこから、新たに加わった新世代を含む4部門の奉仕の輪が広がり、それを結んだ輪の上に関連した諸活動が円形に広がって回転しているのが基本構造である、と私は考えています。

地区ガバナーは、地区内クラブに対する指導と監督を行うことで、ロータリーの綱領を推進する任務を課せられております。今年度私は、クラブ活動計画書掲載のご挨拶「利己と利他との調和」にもありますように、地区内のクラブに以下の9項目の要望をいたしております。

1. 職業奉仕の更なる推進を図ること。
2. 職業奉仕理念の理解を深め、職業奉仕の実践を極めていくことを目指して、クラブに研修委員会を設け、或は研修を担当する委員会を定めて、クラブ会員の研修を重ねること。その効果により、高潔であり、品格・徳性を備え、地域社会で尊敬されるロータリアンを数多く生み出し、「クラブのサポートと強化」並びに「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を果たすこと。

3. 新世代奉仕活動をRIプログラムのみに限定せず、地域社会、国家、民族、ひいては地球の未来を担う新世代の若者の健全育成を図るための、社会奉仕委員会とのクロス・プロモーションによる奉仕活動を実施し、「人道的奉仕の重点化と増加」に資すること。

4. 異なるものが提携することにより、それぞれの活性化を生み出します。委員会の垣根を取り払って協同で活動する委員会クロス・プロモーション活動を実施することにより、「奉仕を通じての平和」の精神を以て平和な世界に向けて邁進すること。

5. これまでの奉仕活動が前年踏襲だけで行われていないかを検証し、新たな発想で奉仕活動の展開を図ること。

6. 例会の意味を改めて問い直しして、自己研鑽を重ねつつ、親睦の醸成を図り、その親睦の歯車の回転エネルギーをロータリーの奉仕に伝えることが出来るような例会とすること。

7. 各クラブ会員純増1名の実現に力を尽くすこと。

8. 「職業奉仕に生きること 話し合い 語り合おう」のテーマの下に開催されるロータリー情報研究会とこれに先立つクラブ職業奉仕委員長セミナーを効果あらしめるための全面的な協力を実施すること。

9. 広島で開催されるロータリー世界平和フォーラムの推進と参加への協力を図ること。

先般地区内各クラブに、クラブ会員研修の教材として頂きたく、冊子「忘筌」を3冊ずつお送りいたしました。

「ロータリーの基盤は職業奉仕であり」、「ロータリアンの責務は、事業と私生活において、高い道徳的水準を持ち続けること」、「ロータリーとは、異業種ながら志を同じくする職業人の集まりで、個々に清純で温かな心で地域社会に奉仕の手を差し伸べること」「ロータリーが職業奉仕を失えば、単なる社会奉仕団体に成り下がる」と述べられた2009 - 10年度ジョン・ケニー会長と同様に、田中会長も、

「事業を成功させるには、顧客の満足を追求する以外にないという結論に達しました。顧客に喜んでもらえれば、事業も成長します。そうすれば私自身も幸せになれる。しかし、それは事業が成功しているからだけではなく、人を幸せにしてあげることができたという認識があるからです。」として、折に触

れて職業奉仕の大切さを説いておられます。

「Community Serviceの主体をクラブに置き、社会一般がロータリーに要望する社会福祉事業も実践すべし」とする行動派と、「ロータリーは会員個人の職業を通じて、事業上の啓蒙思想の活動に置くべき」とする理論派との間の議論の激突により、今にも分裂しかねない重大な危機を迎えたロータリーは、1923年セントルイス大会において決議23 - 34を成立させました。決議の時点において、4大奉仕

(現5大奉仕)に分化する奉仕概念は未だ成立していませんでしたし、また決議前文において、「ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、及び社会生活に奉仕の理想を適用することを奨励、育成することがCommunity Service (社会奉仕)である」としていることからしても、決議23 - 34は現在の「社会奉仕」だけに限定して適用されるべきものではなく、「(広く全ての) 奉仕の実践に関する決議」であるというべきであります。

決議23 - 34は、「ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は、奉仕—『超我の奉仕』の哲学であり、これは『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』という実践的な倫理原則に基づくものである。」と宣言しています。

無限に増殖していく人間の本能である欲望に手綱をつけて、「欲望を自己制御」することが、「利己と利他との調和」を図るロータリーの「超我の奉仕」の「人生哲学」、即ち心構えであり、「利己と利他との調和」こそが、人と人との間柄、職業人・実業人とその相手方との関係を律する実践的倫理基準、即ち行動規範の偉大な原理であります。

私たちロータリアンは、例会において、親睦を通じて、心を磨き、自己研鑽に励みます。また道徳心を高揚させて、自らの徳性と品格を高め、更に自己研鑽のエネルギーを奉仕の心として、それぞれがそれぞれの職業の質、職業倫理の向上を諮るのです。

ロータリーの実践的倫理基準「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。He most profits who serves best.」に依拠して、「利己と利他との調和」という最高善を求め続けること、それがロータリーなのだ、私は考えています。

終りに当り、成田空港南ロータリー・クラブのますますのご発展と、会員皆様のご健勝を祈念いたしまして公式訪問のご挨拶といたします。

■ ニコニコボックス

青柳誠君・越川博光君・齋藤逸朗君
土屋俊夫君・野島暉通君・鈴木恭一君
内田裕雄君・森川忠君・小林定雄君
石田喜一君・前川成吉君・古西弘和君
行木英夫君・伊藤元雄君・杉森幹男君
小川佐内君・渡辺孝文君・安藤卓造君
小野田行伸君・花澤昇一君
…得居ガバナーようこそ

川島宥君

…川島宥会員、森川忠会員、杉森幹男会員の
母校中央法科大学院が平成24年度の司法試験
合格者が日本一になったので

向後雅生君

…誕生祝ありがとうございます
得居ガバナーようこそ

得居ガバナーより

小林ガバナー補佐より

並木ガバナー補佐幹事より

本日計	37,000円
累計	267,000円

■ 出席報告



例会日	会員数	出席	MU	%
9月20日	38	25	13	100.0

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

2012-2013年度 ガバナー公式訪問

平成24年9月20日（木）富士屋



クラブ協議会



懇親会





出典：2008年国際協議会 渡辺好政元RI理事